

## 厚木基地における夜間連続離着陸訓練に係る要請結果について

米空母キティホーク艦載機の夜間連続離着陸訓練（NLP）について、神奈川県及び厚木基地周辺7市と共に政府及び米軍に対し要請書を持参した結果、下記のとおり回答を得ました（他の要請先には文書を郵送しました）。

外務省：要請の趣旨を関係者に伝える。昨日、米国大使に、訓練はできるだけ硫黄島で行ない厚木基地での訓練を最小限にするよう、また深夜飛行を避け飛行制限を遵守するよう申し入れた。これに対し、「訓練はできるだけ硫黄島で行い、飛行規制を遵守していきたい。訓練の必要性を理解願いたい。」との回答があった。  
(有吉孝史 日米地位協定室首席事務官)

防衛施設庁：厚木基地周辺の騒音問題は重要課題と認識している。一方でNLPの円滑な実施は必要不可欠であることを理解願いたい。できる限り多くの訓練が硫黄島で行われるよう米軍に協力を求めて行く。  
(川原勉 調達協力室長)

厚木航空施設：すべての訓練を硫黄島で行なうよう引き続き努力していく。厚木基地周辺の住民の騒音被害が少なくなるよう配慮していきたいが、安全を確保するために訓練が必要であることについてもご理解願いたい。  
(清水美弘 渉外部長)

(参考) 7市：大和市、綾瀬市、藤沢市、相模原市、海老名市、座間市、横浜市